

土器ドキ縄文ツアー

わたしも縄文人になってみた



香川県埋蔵文化財センター 復元した竪穴建物の前で撮影

牟礼小学校4年 甘利早陽花

もくじ

・ 縄文時代を調べようと思ったきっかけ	P 1
・ 縄文時代はいつからいつまで	P 2
・ 縄文時代年表	P 3
・ 土器ドキ・時代年表	P 4
・ 縄文土器を作ろう	P 5
・ 縄文人はどんな家に住んでいたの？	P 6
・ 縄文時代のムラは何人くらいの人がいたの？	P 7
・ ふく元したたてあな住居に行ってみた	P 8
・ 縄文人はどんな服を着ていたの	P 9
・ あんぎんってどうやってあむの	P 1 0
・ 縄文時代の服を作ってみよう	P 1 1
・ 山と海の交流	P 1 2
・ 縄文人のごはん	P 1 3
・ 縄文人のくらしとカレンダー	P 1 4
・ 縄文クッキーを作ろう	P 1 5
・ 縄文パンを作ろう	P 1 6
・ Jomonさんといっしょに石おので丸木舟作り	P 1 7
・ 調べた結果とまとめ	P 2 0

縄文時代を調べようと思ったきっかけ

きっかけは、本で縄文人の乗っている丸木舟を見たときに、丸太をくりぬいただけで船になるなんてすごいな、これなら私も作れそう、と思ったから。もし本で読んだたてあな住居を作れたら、キャンプみたいで楽しそうだと思ったので縄文時代について調べてみることにした。

調べる方法

- ・図書館で本を借りる
- ・くわしい人に教えてもらう
- ・インターネットで調べる
- ・じっさいに体験してみる



そよかちゃん

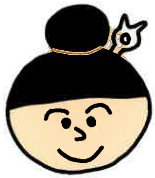
この調べ学習をしている私



土ぐうちゃん

土器ドキ縄文ツアーのガイド

縄文時代はいつからいつまで？



縄文時代の始まった時期は本によって書いてあることがちがうね。どうしてだろう？

「縄文時代がいつから始まったのかという点については、実は考古学者の間でもろんそうが行われており、決着がついていません。」

縄文時代の始まり、3つの説

1万6500年前	1万5000年前	1万1500年前
土器の出現	土器が広まる	本かく的な定住生活を始める
まだ気候はあたたかくなく氷 が時代の終わりのころの	気候があたたくなり、土器 があるていど広まってきた	たてあな住居や貝づかなど定住 を中心とした縄文時代的な生活 方法が定着してきた

「どの説にも、もっともな理由があり、どれが正しいということとはできません。重要なのは、どのようにして旧石器時代から縄文時代へとうつり変わってきたのか、という歴史の流れを理かいすることです。」

山田康弘著「縄文人がぼくの家に来ていたら？」実業乃日本社 2014 P28



1万6500年前から1万1500年前に始まったんだね。縄文時代の終わりも本によってちがうけど2400年前から3000年前と書いてあったよ。始まりも終わりもゆるやかにうつり変わっていくんだね。縄文時代はおよそ1万年以上も続いたんだね～。すごいなあ。



縄文時代は土器の形などの文化の特ちょうによって、草そう期、早期、前期、中期、後期、晩期の6つの時期に分けられるよ。

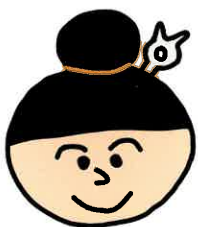
縄文時代年表

	草そう期	早期	前期	中期	後期	晩期
時代	1万5000年～ 1万2000年前	1万2000年～ 7000年前	7000年～ 6000年前	6000年～ 4500年前	4500年～ 3500年前	3500年～ 2400年前
気温とかんきょうの変化	最終氷期を経て、地球全体の気温が上しょう。	一時的に寒冷化した後、温だん化が本かくなつた。あたたかくなつたことで氷がとけて海面が上しょう。このころから 縄文海進 が始まつた。	本かくなつた温だん化に入。早期から始まつた縄文海進はこの時期にピークをむかえた。	前期から引き続き温だん化が続く中で森が安定し、植物質食料が豊富に。ただし終わりがくは気温が下がりはじめ。	中期の終わりがくは気温が下がりはじめた気温が、後期になつても、じわじわと下がり続けた。	気温の下くがすすみ、温だん化によつてとけ出していた海水が氷にもどつた結果海面が下がり海岸線が後たいした。
主な出来事	たてあな住居を作り、定住する生活にいはじめ。土器が発明され、食料事じょうがよくなつた。この時代に弓矢が考へ出された。	定住が本かくなり、集落が作られるようになる。調理のための加工石器が多く作られはじめた。	東日本、特に東北地方では広場を中心にしたたてあな住居が円く配列されたかんじょう集落が多くつくられるようになった。	縄文時代の中で最も自然かんきょうが安定していた時期。人口がばく発的にふえた地いきもあった。	人口がばく発的にふえた中期から一転、後期は大きな集落は姿を消し、小さな集落が主流になつた。	北部九州では、とらいの人々により、水田いな作が、開始された。



縄文海進とは、6000年前に温だん化のえいきょうによつて氷がとけだし、海面が今より5～6m上しょう。その結果、海岸線が内りく部まで入りこんだ現しょうのことだよ。

こんだあきこ&スソアキコ著：武藤康弘監修「おもしろ謎解き『縄文』のヒミツ」小学館 2018 P8～P30



中期は温だん化が続き、食べ物がたくさんとれるようになったから人口がばく発的にふえたんだね。じゃあ、後期になつて大きい集落から小さい集落が主流になつたのは気温が下がり続け、木の実などがとれなくなり、たくさんの人が同じ場所で暮らすことがむずかしくなつたからだね。食べ物が少なくなつた時にうばいあわないで、集落の大きさをえたり、いどうしたりしながら生活していた縄文人ってかしこいな。

①草そう期



深はち形土器



りゅうたい文土器



りゅう線文土器

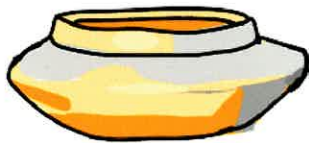


せん底深はち形土器

木や貝などの物をおし付けた文様がつけられ、縄
のもようはまだ見られません。丸底・平底の深ば
ち形。

縄の文様がつけられ始め、先のとがった底の円す
いがた深はちが多く見られます。

③前期



あさばち形土器



円とう下そう式土器

底は平らになり、あさばち・台付き土器も出現。
縄文文様の最せい期となります。

④中期



火えん土器



勝坂式深はち形土器

ひも状のかざりなどやうずまき文など、文様がふ
くざつ化していきます。

⑤後期



注口土器



人面そっくり付い形つ
ぼ形土器

つり手土器、ふた付土器、そう口土器など様々な
形の土器が作られるようになりました。

⑥ばん期



亀ヶ岡式つぼ形土器



亀ヶ岡式つぼ形土器

形の種類が多く、せん細でぎこちない文様や文様
のない土器が作られるようになりました。

西ヶ谷恭弘監修「衣食住にみる日本人の歴史①」あすなる書房 2002 P20

本山浩子著 宮原武夫監修「体験しよう！縄文人の暮らし①すまいと生活」汐文社 2009 P29

縄文土器は年代によってけっこうちがいがああるね。人工がばく
発的にふえた中期には、土器のげいじゅつもばくはつしている
ね。私は中期の火えん土器も好きだし、ばん期の細やかな文様
の土器も好きだな。縄文人はセンスがあるね。



縄文土器を作ろう

香川県埋蔵文化財センターの信里さんに教えていただきました。

①ねん土、砂、木べら、水をじゅんびする。



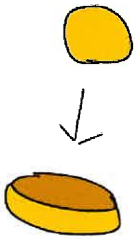
②ねん土に砂をまぜるのがポイント※この写真の量の10倍くらいまぜた。



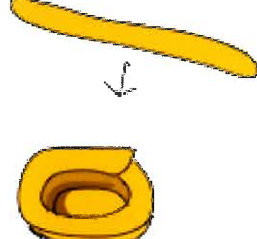
③ねん土の周りに砂をつけて、体重をかけてよくこねるとねん土と砂がまじっていく。



④よくこねられたら、小さめに丸めたねん土を指でつぶして、うすい円ばんの形の土器の底の部分をつくる



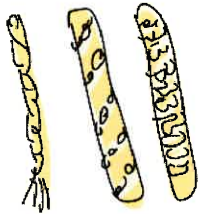
⑤ねん土のひもをつくる。ねん土のひもを底の周囲にぐるりと回す。指でおさえて、しっかりとくっつける。



⑥1だん目ができたら同じように2だん目、3だん目とくっつけて高さを出す。



⑦形ができたなら好きな縄文の模様をつけていく。ぼうにひもをまきつけた物やひも、貝などを使う。



⑧完成した土器は日かげでゆっくりにかわかしてからやきます。



ねん土をひもにしてつまあげていくのがすごくむずかしかった。こんなかんたんな形でもむずかしいのに、かざりのたくさんついた火えん土器を作った縄文人はすごいと思った。写真のように円になって作っていたら、他の人が作っている土器が目に入ってカッコいいも様は思わずまねしたくなると話していたら、出土した土器はも様が似ていると信里さんに教えてもらったよ。きっと縄文人もこうやってみんなで円になって座って、上手な人に教えてもらったり、こうやったら上手くできたよ、とかおしゃべりしながら土器を作っていたのかも。

＊おまけ＊本物の弥生時代の土器をさわらせてもらったよ。うすさと軽さにびっくり！食べている物がおかゆからご飯に変わって、土器もうすくなっていたんだって。ふたもあるよ。



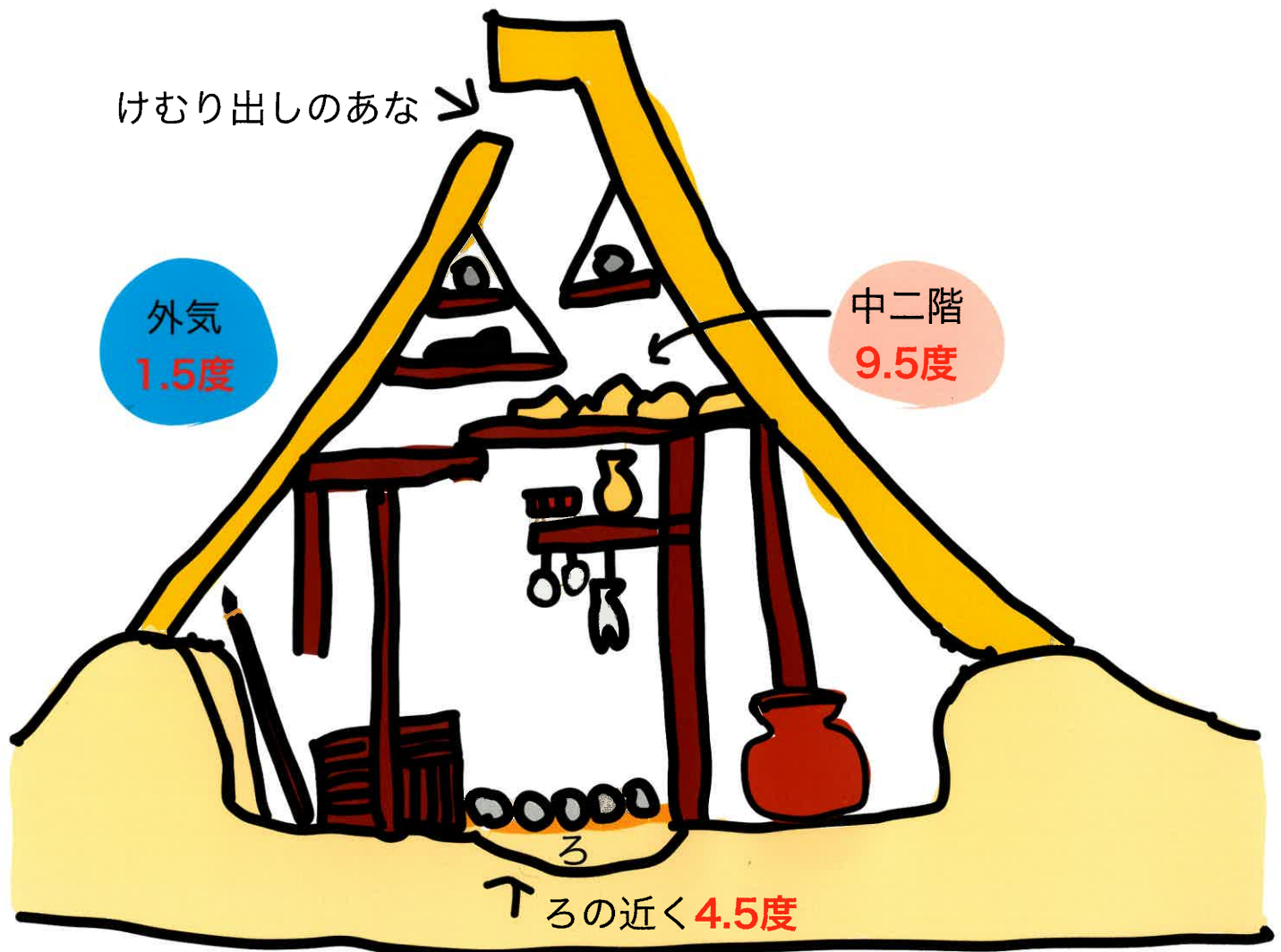
縄文人はどんな家に住んでいたの？



縄文時代の家といえばたてあな住居だよね！

たてあな住居のとくちょう

- ・ 4～6人の家族が楽々住める
- ・ 中2階がある（子どもなら10人くらい寝られる広さ）
- ・ 家の中に空間やたながあって食料や道具がいろんなところにしまえる
- ・ 夏はすずしく、雨に強い
- ・ 外の気温が1.5度くらいの冬でも、中2階は9.5度くらいあってあたたかい



縄文時代のムラは何人くらいの人がいたの？

「縄文時代は、だいたい4～6世たいがまとまって一つの集落を作っていました。魚や貝をとったり、料理をしたりするためには水場に近い方が便りですが、こう水などのきけんをさけるために、また、動物や山さいをとるためにも、水辺からあるていどはなれて山がわに入った場所が選ばれました。」

永山久生・山本博文監修「歴史ごはん食事から日本の歴史を調べる第1巻縄文～弥生～奈良時代の食事」
くもん出版 2018 P12



世たいとは同じたてあな住居にくらす家族の単位のことだね。

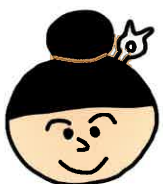


じゃあ、たてあな住居には4～6人住んでいたから、一つのムラには16人～36人が住んでいたということだね。

500人が生活していた三内丸山遺跡（さんないまるやまいせき）

「青森県の三内丸山いせきでは、まだ全体の20パーセントしか調査していないのに、5500年前から4000年前までの1500年にわたって建てられた、700をこえる、たてあな住居が発くつされました。そのうえ、長さが10メートルをこえる大型のたてあな住居も十数けんあり、直径2メートルもある6本の柱のあなも発見されました。また土器のかけらや石器などのいぶつがダンボール4万箱分もほりだされ、調さがすすむにつれて、ますますふえています。このような三内丸山いせきのきぼから、発くつにたずさわっている研究者は、ここがもっともさかんだった4500年ほど前には、500人が生活していたとすいそくしています。」

山田昌久監修「調べ学習日本の歴史①縄文のムラの研究」ポプラ社 2000 P6



4500年ほど前ということは中期だね。人口がばく発的にふえた地いきっというのは三内丸山いせきのことだったんだ。私の小学校の全校生は300人くらいだよ。それよりもずっと多いね。500人もいたらみんな知り合いというわけではなさそうだなあ。

ふく元したたてあな住居に行ってみた



私の身長は135cmくらい。外から見たたてあな住居はそこまで大きく感じない。高さが低いからかな。入り口は少しかがまないと入れないくらい小さいよ。



中に入ると土をほり下げてあるので天井がとっても高い！これなら中2階を作っても広々住めそう。



縄文時代、ろは年中たいていたんだって。家の中で火をたいているから、いぶされて夏でも蚊が入ってくることはないんだって。



←これがけむり出しのあなだね。これがあるから家の中で火をたいてもけむくないんだね。

外から見たけむり出しのあな→



地面より床が下にあると雨が流れこんできそうと思ったけど、もり土をしてあるからだいじょうぶなんだって。なるほど～。



香川県埋蔵文化財センター 復元した竪穴建物

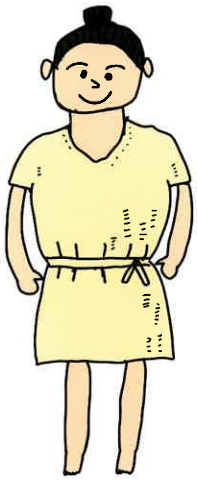
本山浩子著 宮原武夫監修「体験しよう！縄文人の暮らし①すまいと生活」汐文社 2009 P20



たてあな住居の中は思ったよりも広かった。本当に夏でも中はひんやりしていたよ。今度は中二階があるたてあな住居に行ってみたいな。

縄文人はどんな服を着ていたの？

縄文人のふだん着



夏

縄文時代にはすでに植物のせんいで作られた“あんぎん”とよばれる布がありました。動物のほねや角で作った針と植物せんいで作った糸を使ってあんぎんをぬい合わせ、かんたんな服を作り着ていたのではないかとされています。



冬

冬になると夏に着ていた服の上からイノシシやシカの毛皮やこれらの動物の毛皮をなめしたかわを防寒用にはおっていたと考えられます。雪がつもる冬は動物のかわを使ったくつを作りはいていたのではないのでしょうか。

特別な祭りの日の服

ハレの日と考えられる特別な祭りの日には、ごうかなアクセサリーや勝負服を着て参加していたと考えられています。というのも縄文時代に作られた土ぐうに、縄文人たちが身に付けていたであろうかざりや服のものがほどこされていると言われているからです。



いせきから発くつされるヒスイやコハクといったき重な石を使ったアクセサリーを身に着け、頭には赤うるしのくしをさし、自分の集落を表す模様をぬいこんだ服を着て祭りに参加していたのかもしれません。

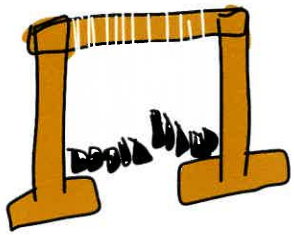
誉田亜希子著 武藤康弘監修「知られざる縄文ライフ」誠文堂新光社 2017年 P30～31、P63



特別な祭りの日のことをハレの日、ふつうの日をケの日というんだって。ハレの日、縄文人たちは思いっきりおしゃれをしていたんだね。この服、作ってみたいけど、作るのにどれくらい時間がかかるのかな。

あんぎんってどうやってあむの？

「出土された縄文人の布を見ると、新潟県で伝統的にあまれているアンギンという布のあみ方に良く似ています。」



アンギンあみき

こもづち

「こもづちに糸をまいてぶら下げてあんで行きます。あんぎんは1時間かけて1～2cmしかあめず、たいへん根気のいる作ぎょうです。あんだ布はあみ上がったたら、水にひたしながら木でたたいてやわらかくします。」



ひええ～、1時間で1～2cm!? 私はできないかも…。しかも糸を作るところからやらないといけないから、1着できるのにどれくらい時間がかかるんだろう。

あんぎんの糸を作る

「あんぎんは、カラムシの植物せんいを糸として編まれています。」

1. 夏の山にほうふに生えるカラムシをかりとる。
2. くきだけにする。
3. 2つにおり、指で皮とくきに分ける。
4. 表皮をとってせんいだけをのこす。
5. せんいを干す。
6. かわいたらたて糸は2本をよる。横糸は1方向にねじる。

カラムシ



「カラムシは、イラクサ目イラクサ科の多年生植物。南アジアから日本を含む東アジア地域まで広く分布し、古くから植物繊維をとるために栽培されていた。」

フリー百科事典『ウィキペディア』 <https://ja.wikipedia.org/wiki/カラムシ>

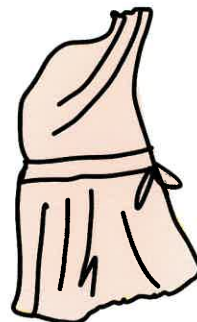
衣服の形

「あんぎんであんだ布はかたんに作れる衣服に変化していったようです。骨で作ったはりもそんざいしていたようで、そのはりにより布をぬい合わせていました。」



かん頭衣…

はばの広い布の真ん中にあなをあけて、頭からすっぽりかぶれます。



けさ衣…
長い布をからだにまきつける衣服。

縄文時代の服を作ってみよう



縄文人の服ってオシャレだな〜、私も着てみたい。



縄文時代

私

あんぎんおり

麻っぽい布

動物のほねや角で
作ったはり

金ぞくのはり

ししゅう

オレンジにそめて
ある Cotton のひ
もを糸でぬいつけ
る



あんぎんおりから作るのはむずかしいので、布を買ってきて作ったよ。かん頭衣の形の服にして、ハレの日の服のししゅうがオシャレだったので、土ぐうのもようをさん考にして Cotton のひもで、もようを付けたよ。ミシンを使わずに手ぬいでぬいたら1週間かかった。ぬい物は初めてやったのですごく時間がかかってつかれたよ。縄文人は本当にすごい…。こんなに時間をかけておしゃれするなんて、縄文人にとってはハレの日はとても特別な日だったんだね。



どこから見ても縄文人だね！

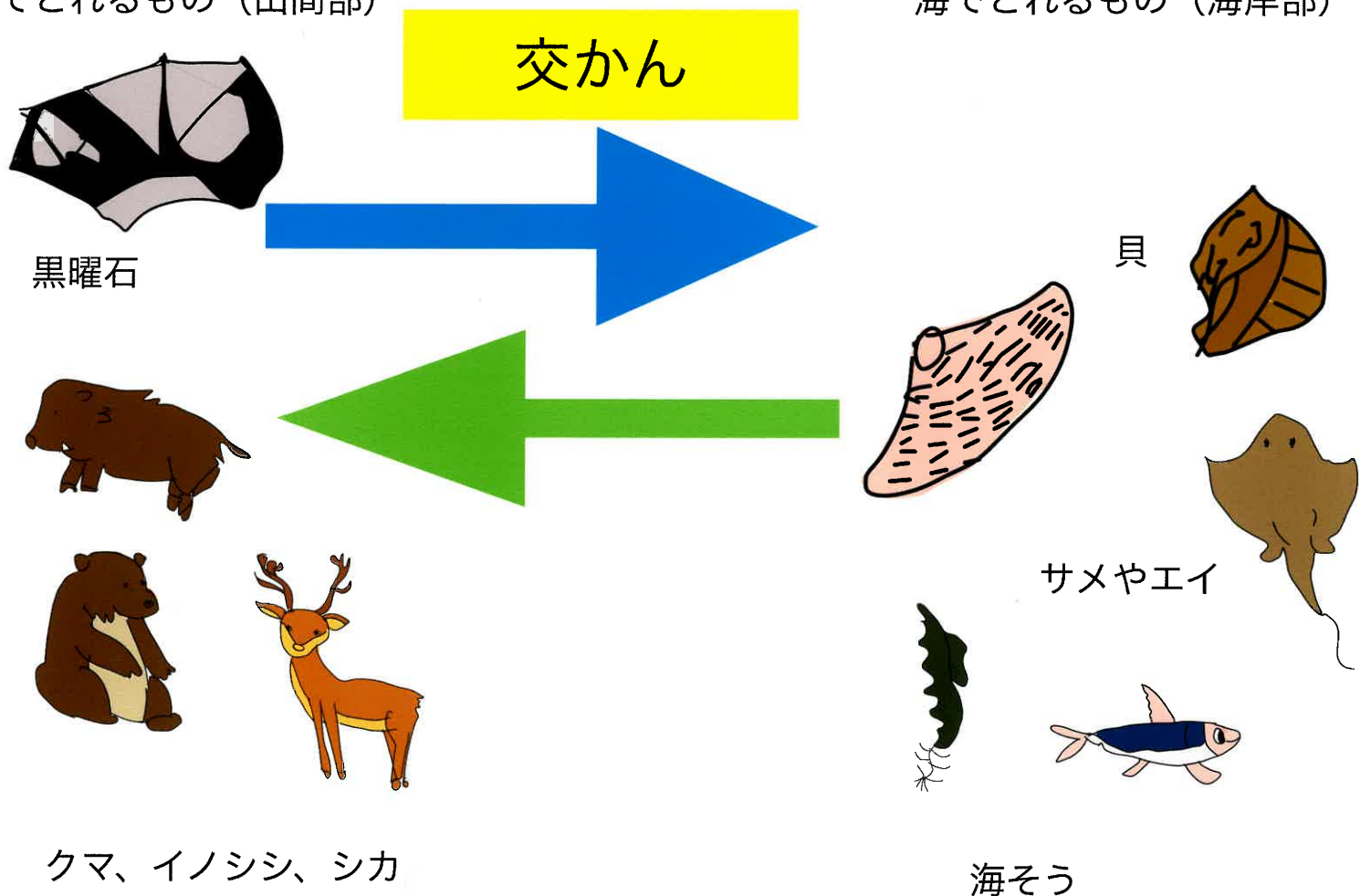


山と海の交流

「縄文時代のいせきからは、黒曜石とよばれる黒くてするどくわれるとくしゅな石がしばしば見つかります。この黒曜石は、火山せいのガラスからできており、北海道や長野県の山間部など、とれる場所がげん定されています。しかしながら、黒曜石は海岸部の貝づかなどからも出土するので、海岸部の人々と山間部の人々が黒曜石を仲立ちとして交流をしていたことがわかります。また、海岸部の貝づかの中には、東京都中里貝塚（とうきょうとなかざとかいづか）のように、自分たちが食べる分以上の貝がすてられているものもあることから、干し貝を作って山間部の人々と物々交かんをしていたのではないかと考えられています。縄文時代にも山と海をつなぐ広い交流があったようです。」

山でとれるもの（山間部）

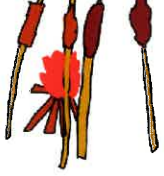
海でとれるもの（海岸部）



縄文時代、お金はなかったけど、物々交かんはあったんだね。でも、物々交かんでは、物のかちが決まってないから、私は、かちが決まっているお金で物を買うほうがかんたんだと思うな～。縄文人は交しょう上手だったのかな。

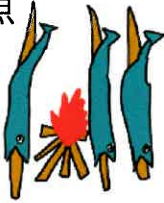
縄文人のごはん

①イノシシの肉



「縄文時代のいせきから出る動物のほねの9わりは、イノシシとシカです。絵のように直せつ火にかざして焼いたり、にたりして食べました。干し肉にしてほぞんもしたようです。」

②魚



「とれる時期がかぎられる動物とちがい、魚は種類を変えてほぼ一年中とれるため、縄文人にとっては大切なたんぱくげんでした。」

③貝



「貝も、魚と同じでほぼ一年中とれるため、たくさんの種類が食べられました。生で食べるほか、ゆでたり、干したりしてほぞん食にもなりました。」

④木の実



「ドングリ、クリ、クルミ、シイ、カヤ、トチノキなどの木の実が、縄文人の主食でした。ゆでたり焼いたりしたものをそのまま食べたり、すりつぶしてこなにしてい、パンやクッキーのようなものをつくったりしました。」

⑤野菜



「昔から日本にある野菜の種類は少なく、タケノコ、ワラビ、ヨモギ、ヨメナ、フキなどの山菜類、ヤマイモ、ムカゴなどのイモ類、キノコ類が中心でした。」

みんなで料理をかこんで食べた

「縄文時代のごはんは、大皿にもりつけた料理をならべてみんなでかこみ、そこから直せつ手でつかんで食べていたと考えられています。しかし、スプーンのような形をした土せい品は見つかっているので、料理によっては一人ひとり、小さな器や木の葉などに取り分けて食べていたのかもしれない。」

永山久生・山本博文監修「歴史ごはん食事から日本の歴史を調べる第1巻縄文～弥生～奈良時代の食事」
くもん出版 2018 P6～P7



縄文人たちのごはんも今と同じようにたくさんの種類の食べ物があつたんだね。みんなで料理をかこんで食べるのは今と同じだね。みんなですべてきた食べ物を調理していっしょに食べると仲よくなれそうだね。きっとすごくおいしいんだろうね。

縄文人のくらしとカレンダー

春

野山では山さいをとって、冬の間の不足しがちだったビタミン類をおぎなった。海では春の大しおの日に、ムラそう出でしおひがりにでかけたことだろう。貝は大しおの日にたくさんとれるが、それ以外の季節でもとれ、年間を通してとっていた。

冬

森の木の葉が落ちて見通しがよくなるのでしゅりょうがしやすい。けものたちは冬ごしのために皮下しぼうをたくわえていてあぶらがのっておいしく、毛皮のしつもよい。けものの肉はほし肉にしてほぞん。毛皮は衣服用に加工した。どんぐりはこなにしておぼん用のデンプンにする。

夏

野山は植物質の食べ物が不足する季節だが、川で魚かい類がとれる。海は※魚ろうに一番てきした季節。丸木舟でおきまで出てマグロやカツオなどの回遊魚をとった。北の海ではトドやアザラシなどをとり、南の海ではさん卵にくる海ガメをとっていた。

秋

1年でもっともいそがしい季節。クリ、どんぐり、トチの実などがみえる。木の実のほぞん。ムラそう出でひろいに行った。東日本の川にのぼってくるサケやマスはひ物やくんせいにして冬のほぞん食に。きびしい冬にそなえて住まいのほしゅうも欠かせない。

岡崎務著 小葉一夫監修「縄文人のくらし大研究 衣食住と心をさぐる」PHP研究所 2014 P61



※魚ろうとは、魚かい類、貝類や海そうをほかく収かくする活動のことだよ。



季節ごとにやることが決まっていて、いそがしそうだね。どれも1人でできることではなくて、ムラそう出で協力しながら働いていたことがわかるね。働かざる者食うべからず、だね。

縄文クッキーを作ろう

グルメむきドングリ・クッキー

材料

- ・ ドングリのこな 200g
- ・ バター 70g
- ・ 卵 1個



このレシピでは皮をむいたドングリをこなにしているところからのっていたけど今はドングリが落ちていないのでドングリのこなを買って作ったよ。



①ボウルにバター70gを入れて、泡立て器でかきまぜる。



②たまごをわって入れ、かきまぜる。



③ドングリのこなを200g入れて、こねる。



④お団子にして、つぶす。



⑤オーブンを150℃にして、20分ぐらい焼く。



⑥縄文クッキーのできあがり！

山岡寛人著「きみは縄文人をこえられるか」民衆社 1991 P80～P83



ドングリのこなは木くずみたいなおいがしたよ。こなはさらさらでクッキーの形にするのがむずかしかった。ドングリクッキーはちょっと苦味があって大人の味がしたよ。バターがもっと入っていたらおいしかったかも…

試食した家族の感想

- ・ 父「口の中の水分がぜんぶ持っていられる。一つでけっこう」
- ・ 母「ドングリはえぐみがある。風味が土っぽい。土食べたことないけど。」
- ・ 兄「ドングリクッキーはけっこうおいしい、塩をふって食べたい。」

縄文パンを作ろう

材料

- ・ ドングリのこな 100g※
- ・ すりおろしたヤマモ
- ・ きなこ 20g
- ・ ハチミツ 大さじ2
- ・ すった黒ごま 大さじ2



※もとのレシピでは小麦こ50g、そばこ50gでしたがドングリのこなに変えて作りました。



①材料をすべてボウルに入れてよくまぜあわせたら、少しずつ水（分量外）を加えて、耳たぶくらいのかたさになるようにこねる。



②2等分し、直径13～15cm、あつさ8mmほどに手でのばす。



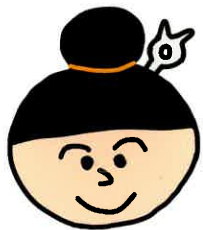
③熱したフライパンにのせ、弱火で10分ほどやく。うら返してこんがりするまでやく。



④縄文パンのできあがり！



永山久生・山本博文監修「歴史ごはん食事から日本の歴史を調べる第1巻縄文～弥生～奈良時代の食事」
くもん出版 2018 P9



きなこの味とハチミツがドングリの苦味をおさえていておいしかった。現代風縄文パンだね。見た目はホットケーキみたいだけど、ふわふわじゃなくてもさもさしたパンだよ。

試食した家族の感想

- ・ 父「これおいしいね。」
- ・ 母「きなこの味がする。ドングリ・クッキーよりおいしい。」
- ・ 兄「うーん、まあいいんちゃう。」（どういう意味？）

Jomonさんといっしょに石おので丸木舟作り



縄文大工のJomonさんこと雨宮国広さんが47都道府県の子どもたちと石おので丸木舟を作るプロジェクトに参加したよ！

「Jomonさんがやってきた！プロジェクト」<https://jomonsan.com>



まずはJomonさんの紙しばいから。どうして人間だけが道具を手にしたんだろう。道具はとっても力のあるもの。だから自分のために使うんじゃなくて地球上の全ての生き物が、楽しく仲よく面白く、くらすために使います。と丸木舟を作るために命をいただいた、じゅれい250年のスギの木さんと約束したよ。



ついに石おのの作りに取りかかった。Jomonさんが用意してくれた大中小の石の中から私は中くらいの石を選んだよ。本当にこの丸い石が石おのになるのか不安になりながら、ひたすらとぐ！



ちょっと、は物らしくなってきたかな？Jomonさんにチェックしてもらいながらとぎ足りない所をしっかりとぐ！とぎがOKもらえた時はうれしかった～！



次の作ぎょうは、石おのの石をうめこむ部分をけずっていくよ。



次は持ち手になるぼうの皮をはいできれいにするよ。木の皮が残っていると虫がわいたりするから、ていねいに。ツルツルすべすべになって気持ちがいいよ。それが終わったら石おのに開けてもらった穴にぼうがぴったりハマるようにけずっていくよ。完成まであと少しだ～。



1日目はここまでで時間切れ。石をとぐのなんて初めてで大変だったけど、自分の手で石おのが作れることに、ずっとわくわくしてたから、ぜんぜんつらくなかったよ。



Jomonさんが、といだ石の大きさや、使う人の身長に合わせて、ちょうどいい持ち手と頭の木を選んで組み合わせてくれるから、みんなそれぞれちがう石おのができるよ。大きいおのも、小さいおのも、どれもすてき。



2日目の朝、Jomonさんに最後の仕上げをしてもらって、ついに私の石おのが完成！やったー！



石おのは使う前に3分くらい水につけるよ。これは木が水をすってふくらむせいしつをりょうして、石おのが持ち手からすっぽぬけないようにするためなんだって。



左がお母さんが作った石おの、右が私の石おの。どっちもカッコいい。大切にするよ。



石おのは使い方にコツがある。力いっぱいふりおろしても木はけずれない。軽力でトントン、トントン、やさしく少しずつつけるようにするとうまく使えるよ。



250才のスギさんの丸木舟はこんなに大きい！香川県は37番目に来てくれたから、もう完成間近だった。沖縄県の進水式まで、私もいっしょについて行きたかったな。



縄文時代を調べ始めて、じっさいに石おのを作り、丸木舟を作るお手伝いができて、すごくわくわくした。でもみんなが乗れるくらいの太さのスギの木が育つためには250年という長い時間がかかっていて、丸木舟を作るためにスギさんを切りたおすということは、この先、屋久島のスギの木のように3000年くらい生きられるかもしれないスギさんの命をもらうということなんだと思った。だから私はスギさんとの約束を忘れないよ。

調べた結果とまとめ

調べた結果

調べる前は、縄文人は原始的な暮らしをしていたと思っていたけど、ぜんぜんちがった。くらしやすく整とんされた、たてあな住居に、たくさんの種類の食べ物、細かいも様の土器を作り、お祭りの日にはおしゃれな服を着て楽しんでたと知って、調べる前より縄文時代のことがもっと好きになった。

まとめ

縄文土器を作ってみるとすごくむずかしかったけれど、縄文人たちはむずかしい土器をこんなに作っていたのか、と思い、縄文人ってすごいなと思った。火えん土器を作った縄文人はとうげいの達人だと思った。今回作った土器を11月に野焼きをするので、とても楽しみ。土器は作ったから、こんどは土ぐうを作りたい。せっかくくわしい人に教えてもらっても、作ることにむ中になってしまってメモをとるのをわすれていたの次はしっかり質問をしてメモをとるようにする。わたしの調べ学習で縄文時代が好きになる人がふえたらうれしい。

とても
楽しかったー！



(Webページを参考にした場合)

作品名: 土器縄文ツアー
あなたの名前: 甘利早陽花

あなたの名前: 甘利早陽花

[illegible]

切り取り線

作品の裏面に貼付してください。

↓個人提出の場合は記載不要です

「第12回 高松市 図書館を使った
調べる学習コンクール」作品応募カード

学校用受付番号
(学校記入欄)

/

作品番号(事務局記入欄)

中・夢・**牟**
国・香

受付№

/

(□に✓を入れてください。)

部 門

☐ 小学校1・2年生の部 ☒ 小学校3・4年生の部
☐ 小学校5・6年の部 ☐ 中学生の部

タイトル

土器ドキ縄文ツアー
わたしも縄文人になってみた

ふりがな

あま り そ よ か
甘 利 早 陽 花

※作成者が複数の場合は全員の名前を記載してください。

学 校

高松市立牟礼

小学校／中学校

[4]年生